

今期の取組テーマ決定のための協議に向けて(事務局提案)

1 これまでの検討状況

(1) 委員アンケートの結果

アンケートでは、委員の皆様は「第7期で取り組んだテーマを深掘り」を希望するという意見が多く、具体的な項目で関心が多かったものは以下の項目でした。

- ①市民の交流推進、地域コミュニティの強化
- ③車がなくても生活できる暮らしの支援
- ⑤選ばれるための魅力ある教育環境の整備

(2) 第2回会議の結果

令和4年5月10日に開催された第2回会議でのテーマに関する意見交換では、「地域の会議などに特定の人しか集まらない」という意見がありました。

2 意見の背景にある課題について(事務局による考察)

(1) 委員アンケートでは「第7期で取り組んだテーマを深掘り」することを希望されています。「深掘り」とは、深く調べたり考えたりすることを通じて、課題に関わりを持ちながら解決策を考えていくことではないかと考えます。

今回アンケート結果で多かった3項目と第2回会議で出た「地域の会議などに特定の人しか集まらない」という意見は、今になって新たに生まれてきた課題ではなく、以前から言われている課題ですが、残念ながら解決に至っていない状態です。

なぜ、解決に至っていないのか、考察してみると

- ①市民の交流推進、地域コミュニティの強化

……全世代に共通する課題だが、地域の会議などに特定の人しか集まらない。

- ③車がなくても生活できる暮らしの支援

……困っているのは高齢者世帯や車を持たない方など

多くの方は車で移動する生活に慣れており、特に不便も感じていない。

- ⑤選ばれるための魅力ある教育環境の整備

……子育て世帯以外には、あまり関心を持たれていないのではないかと。

また子育て世帯も、自分の仕事が忙しく、学校運営などに深く関わっていない。

といったように、自分の問題と感じている人が限られているなか、多くの人にとっては「他人ごと」になっているため、課題の解決に向けた取り組みが進まないのではないかと仮定しました。

3 みんなでまちづくりに向けて

この会の名称にもあるように、市民の皆様ひとりひとりが、「境港市のまちづくり」を「自分ごと」として捉えていただくことが、提案いただいたテーマ(課題)の解決に向けて重要な要素ではないかと改めて考えさせられました。

原点に立ち戻り、第7期報告と前回会議のアンケート結果だけでなく、過去の各期の報告・提言なども振り返りながら、多くの市民がまちづくりに参加する方法を検討していく必要があるのではないかと考えます。

まちづくりを「自分ごと」として捉えられない要因として、行政上の仕組みの問題も考えられるため、条例の見直しの検討も必要と考えられます。

事務局の提案としては、「自分ごと」をキーワードに据え

どうすれば、一人一人が、まちづくりに関心を持ち、参加をしてもらえるのかワークショップで話し合いながら、出た意見を今期のテーマとして取り組んではどうかと考えます。